

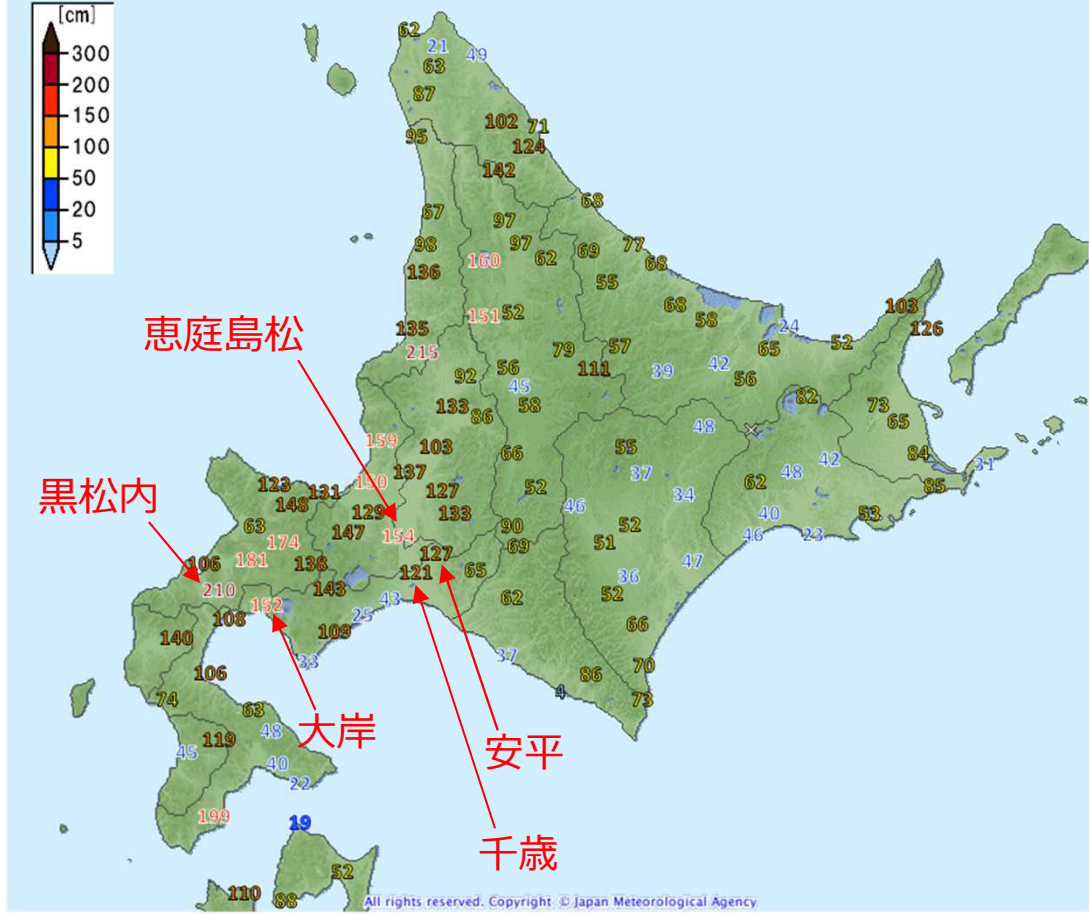
これからの季節の防災事項 なだれと融雪害への備え

- **北海道の積雪状況（令和4年2月24日現在）**
- **なだれと融雪害への備え**

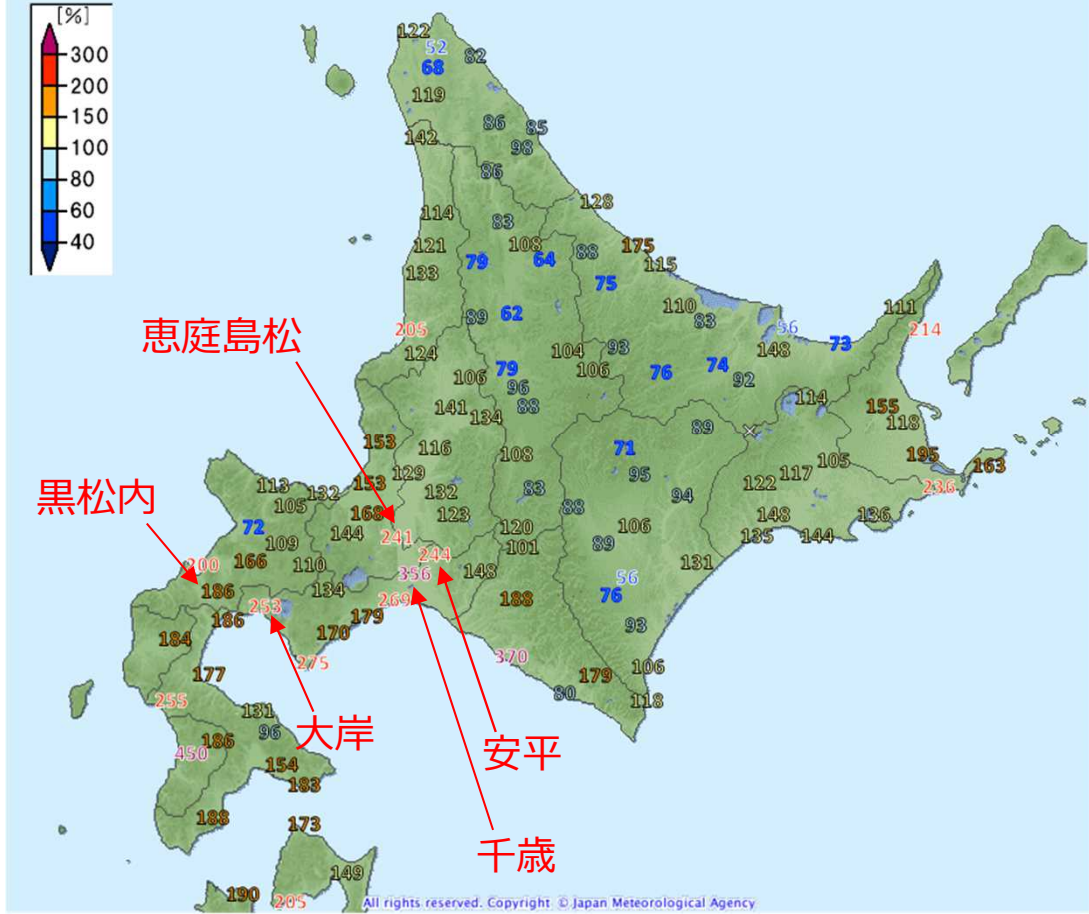
令和4年2月25日
札幌管区気象台気象防災部予報課

北海道の積雪状況（令和4年2月23日現在）

2022年2月23日 9時 積雪の深さ (cm)



2022年2月23日 積雪の深さの平年比 (%)



日最深積雪 観測史上1位の値 更新状況 (2/23)

都道府県	地点名	昨冬までの1位の値以上となった		昨冬までの1位の値		統計開始年
		cm	日時分	cm	年月日	
北海道 石狩地方	恵庭島松	154	23日10時00分	115	2006/2/5	1981年
北海道 石狩地方	千歳	123	23日11時00分	77	2008/2/28	2006年
北海道 後志地方	黒松内	214	23日01時00分	204	1984/3/13	1981年
北海道 胆振地方	安平	127	23日10時00分	103	1996/2/6	1983年
北海道 胆振地方	大岸	162	23日01時00分	116	2021/3/3	1983年

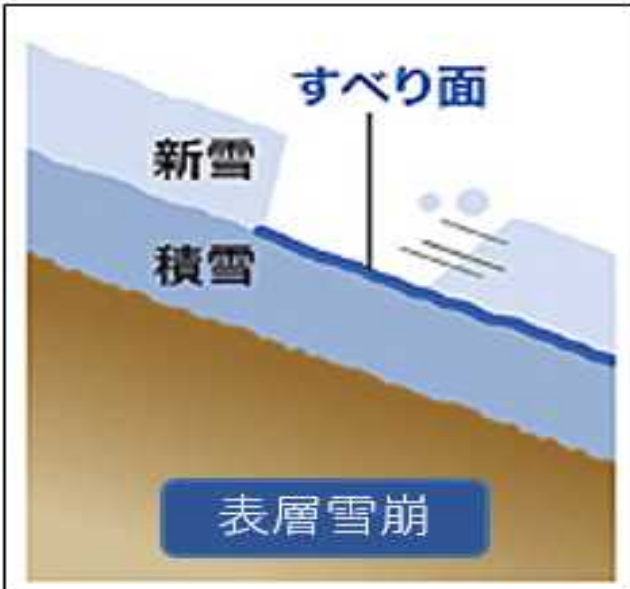
北海道南西部を中心に平年を上回る積雪状況。千歳では平年の3.5倍の積雪に達している。

北海道の積雪状況（札幌管区气象台HP）

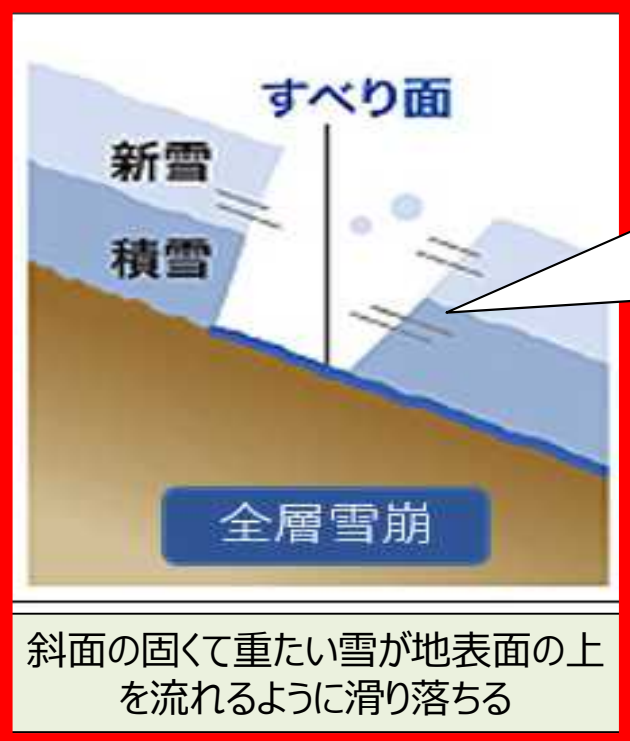
<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/tenki/kansoku/snow/snowmap/index.html>

なだれと融雪害への備え (①なだれへの備え)

なだれとは、斜面に積もった雪が、重力の作用により下方に滑り落ちる現象です。



古い積雪面に降り積もった新雪が滑り落ちる



斜面の固くて重たい雪が地表面の上を流れるように滑り落ちる

春先にかけては急勾配の斜面、低木林やまばらな植生の斜面では、全層なだれのおそれが高くなります。

資料：政府公報オンライン

【なだれ注意報の発表基準】
① 24時間降雪の深さ30cm以上 ← 「表層なだれ」を対象とした基準
② 積雪の深さ50cm*以上で、日平均気温5℃以上 ← 「全層なだれ」を対象とした基準
(*胆振・日高地方では積雪の深さ40cm以上)
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#elem=avalanche&contents=warning>

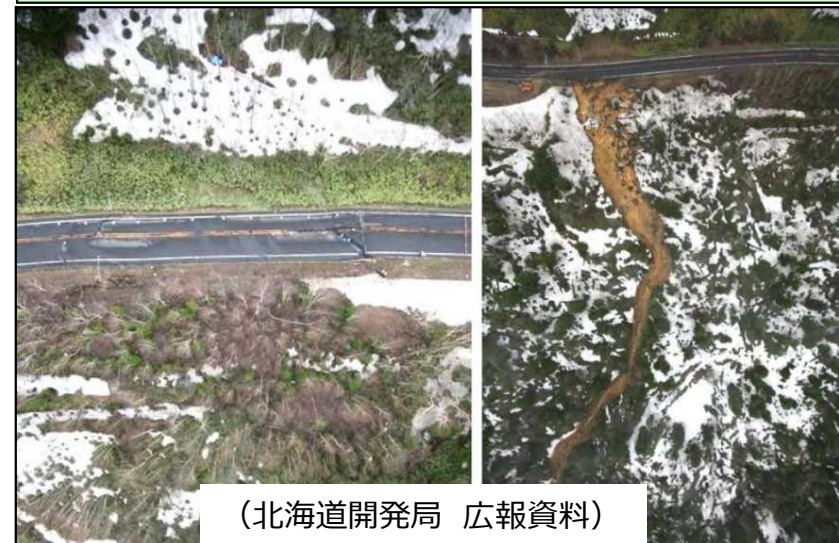
なだれと融雪害への備え (②融雪害への備え)

気温上昇による雪解けや降雨により、**低い土地の浸水**や**河川の増水**が発生します。
また、雪解け水で地盤が緩み、傾斜地での**土砂災害**も発生します。
大雨が予想される場合には、これらの災害に対する一層の注意・警戒が必要です。

2018 (平成30) 年3月9日
大雨と融雪で釧路川が増水・氾濫し、市街地が浸水
弟子屈町川湯 日降水量113.0mm、積雪深差15cm



2012 (平成24) 年5月4日
中山峠で発生した土砂崩れ
支笏湖畔 日平均気温11.6度、日降水量145.5mm



【融雪注意報の発表基準】 24時間雨量と融雪量 (相当水量※) の合計

50ミリ以上 宗谷地方

60ミリ以上 上川・留萌地方、釧路・根室・十勝地方、胆振・日高地方、渡島・檜山地方

70ミリ以上 石狩・空知・後志地方、網走・北見・紋別地方

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#7/43.195/141.423/&elem=all&contents=warning>

※日平均気温や積雪深の減少量から、融雪量を降水量に換算したもので、日平均気温8度または積雪深の減少量12cmで約50ミリの降水に相当します。

2015（平成27）年融雪期の災害（土砂崩れ・地すべり）



気象庁
札幌管区気象台
Sapporo Regional Headquarters
Japan Meteorological Agency

■3/17 07:30頃 礼文町(H26.8.24大雨被災地)
土砂崩れ 宗谷総合振興局提供



■4/3道道八雲厚沢部線
土砂崩れ 渡島総合振興局提供



■4/24 羅臼町地すべり
開発局へり撮影



■4/24 羅臼町地すべり
気象台撮影



2018（平成30）年融雪期の災害（なだれ、土砂災害）

- 3/9 国道236号 広尾町上トヨイ基線～浦河町上杵臼の道路被災
野塚トンネル（広尾側）付近 なだれ発生
（3月11日 帯広開発建設部 報道発表資料）



- 3/9 国道236号 広尾町上トヨイ基線～浦河町上杵臼の道路被災
川見覆道付近 土砂流出
（3月11日 帯広開発建設部 報道発表資料）



アイスジャムとは

川の氷が、流れの遅い所で詰まり流れを塞ぐと、水の流れる面積が小さくなるため、急激に水位を上昇させます。氷が詰まり流れをせき止める現象をアイスジャムと言います。

アイスジャムのしくみ (図・説明：寒地土木研究所パンフレットより)



2018（平成30）年3月9日 辺別川（美瑛町）水位上昇状況：旭川建設管理部提供



2018（平成30）年3月8日から9日にかけての大雨と融雪等による災害では、アイスジャムの決壊によると思われる急激な増水により死者1名の人的被害があった。

■ なだれ注意報

⇒積雪の多い傾斜地での全層なだれ

■ 融雪注意報

⇒雪解け水や降雨に伴う土砂災害、低い土地の浸水

■ 洪水警報・注意報

⇒雪解け水や降雨に伴う河川の増水や氾濫

・これから5月にかけて、気温が急上昇する日や大雨が予想される日は、一層の注意・警戒が必要です。

・気象台では、融雪や大雨による災害が予想されるような場合は、地方気象情報や府県気象情報を発表して注意喚起を行います。